

大阪大学ミラー対称性セミナー

日時：(1回目)2023年11月22日(水) 15:30 – 17:00

(2回目)2023年12月6日(水) 15:30 – 17:00

場所：大阪大学理学部 E404 号室 (対面のみ)

講演者: 白石 勇貴 (大阪大学)

タイトル: Burban–Drozd と Lekili–Polishchuk の解説

アブストラクト:

Burban–Drozd の nodal 特異点で繋がっている (一般には軌道体) 射影直線の鎖の非可換特異点解消と, そのミラーとなる境界に点付き曲面のホモロジー的ミラー対称性を示した Lekili–Polishchuk の論文 (の一部) について解説します. 二回の解説の内, 一回目では, 射影直線の鎖の正規化の構造層と特異点のイデアル層を使って smooth proper な gentle 代数 (gentle 代数) を構成する Burban–Drozd の論文 (の一部) を解説します. 二回目ではその gentle 代数を実現する境界に点付き曲面を構成し, ホモロジー的ミラー対称性を示した Lekili–Polishchuk の論文 (の一部) を解説します. 特に, 「お絵描き」と導来圏における各種操作が両立的であることを説明したいと思います.

世話人: 高橋 篤史, 三浦 真人, 真鍋 征秀, 松本 圭峰 (全て大阪大学)